

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもセンター かおるおか			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 7日 ~ 令和8年 1月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 22日 ~ 令和8年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの出席率、充足率が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが健康を保ち楽しく通えているのは、ご家族が日々の暮らしの中で心身を支えているからだと感謝している。 ・子どもやご家族の思いに応えるために、職員は専門性、人間性を高める努力を惜しまない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからもアンケート結果や日々のご要望に耳を傾ける。その上で、制度としてできること、工夫したらできること、難しいことなどを整理して、誠実に説明をする。
2	職員一人一人の専門性が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の心技が子どもやご家族の思いに沿うかどうかを慎重に見極める期間（実習等）を採用前に取り入れている。 ・業務に必要な研修を積むとともに、職員一人一人が積極的に自己研鑽を重ねている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもやご家族との時間（臨床）を大切にしながら、研修や自己研鑽の時間が十分に確保できるよう、管理者は体制等を整える。 ・互いに専門性を尊重しあう関係であり続けるため、各々が専門性を磨くとともに他者の専門性から学ぶ。
3	地域やご家族から大事に思っていただけている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と日々の会話や交流、清掃活動、祭りなどを楽しみ、この地域のよさ、温かさに常に触れる。 ・ご家族と尊重し合える関係が続くよう、自分たちの言葉、しぐさ、表現方法を定期的に振り返る。第三者の視点からも検証している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員という立場を超えて、この地域で暮らしている『人』として、地域の方々やご家族とかかわる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	西大分の丘に位置し、公共交通機関のバス路線が通っていない	<ul style="list-style-type: none"> ・療育効果を考えて、子どもたちの目線から海が見える高台、走り回れる広さの土地、東西南北に部屋があり、四方から光や風が入る場所を選定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の送迎が難しい状況にある子どもが安心して通えるように、引き続き、複数の専用自動車（園バス）を維持する。 ・自家用車で送迎するご家族が必要に応じて休憩できるように、引き続き、複数の空間を用意する。
2			
3			